

第31回

全日本高校・大学生書道展

— 学生書道のグランプリ —

作品募集要項

- ◆作品受付 2026年6月15日 月 締め切り
- ◆成績発表 2026年7月24日 金 発表予定
- ◆会期 2026年8月18日 火 — 8月23日 日
- ◆会場 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー(天王寺公園内)

この展覧会は、世界に誇る優れた伝統文化である「書」の発展と、次代を担う若者の育成を願い、1996年(平成8年)に第1回展を開催し、今年第31回展を迎えます。学生対象の公募展として最高水準を誇る本展には毎年数多くの作品がよせられ、年齢や学年にかかわらず優れた作品を「学生書道のグランプリ」として選出し、陳列、表彰しています。

お問い合わせ・資料請求

全日本高校・大学生書道展事務局

〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31 OMMビル 7F 公益社団法人 日本書芸院内
tel 06-6945-4501 fax 06-6945-4505

必要資料はホームページからダウンロードできます
<https://www.nihonshogeiin.or.jp/>



主催 公益社団法人 日本書芸院・読売新聞社

協力 あかしや、一休園、カタナヤ蒼韻菴、久保田号、クリモト、呉竹、賛交社、松魁堂、松樗園、松林堂、雪江堂大阪、高山草月堂、天義堂、平助筆復古堂、墨運堂、みなせ筆本舗



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。



関西元気文化圏参加事業

作品募集要項

◆出品資格 高校・大学の在籍者など中学校卒業以上 25 歳までの生徒・学生あるいは進学準備中の方
(2026 年 6 月 15 日 作品受付締切時)

◆部門 1. 漢字(臨書作品も可) 2. かな(臨書作品も可) 3. 調和体 4. 篆刻(模刻も可、印影のみ)
*各部門 1 人 1 点で 1 人最高 4 点の出品可、ただし同一部門複数出品は認めない

◆作品規定 出品できる作品の形式、寸法、部門は次の通り

種別	形式	仕上がり寸法(額寸法)	本紙寸法の参考例(推奨)	本紙最大寸法	部門
第 1 種	A 縦横自由	2×8 尺 (約 60×240 cm)	53×227 cm	58×238 cm	漢字 かな 調和体
	B 縦横自由	2.6×6 尺 (約 78×180 cm)	70×167 cm/53×167 cm/60×179 cm	76×179 cm	
	C 四角	4×4 尺 (約 120×120 cm)	109×109 cm	118×118 cm	
第 2 種	縦横自由	2.4×5 尺 (約 72×150 cm)	70×135 cm/53×135 cm (全紙・聯落)	70×148 cm	
第 3 種	縦のみ	1×1.3 尺 (約 30×39 cm)	ヨコ 21×タテ 30 cm(A4 タテ)	ヨコ 28×タテ 36 cm	篆刻

- * 作品は未発表のもので、表装をせず書き下ろしとする
- * 作品本紙の寸法は上記規定の「本紙寸法の参考例(推奨)」を基本とし、それ以上に大きくなる場合は必ず上記規定の「本紙最大寸法」以内とすること
- * 半切 1 枚や半紙 1 枚などの出品は出来ない
- * 第 2 種は半切 2 幅での出品はできない(ただし、半切 2 幅を全紙サイズに継いだものは全紙として受け付ける やむを得ず半切 2 幅を使用し第 2 種として出品する場合、半切 1 幅目の左側と 2 幅目の右側を 5mm 程度の幅で糊付けし、全紙 1 枚と同じ体裁にして出品すること)
- * かなの臨書作品など小品が複数枚となる場合は、上記参考例の紙に作品を糊付けし、剥がれ落ちないように仮止めすること
- * 作品・出品票の糊付けは、デンプン糊・フエキ糊を使用すること

◆出品料 無料

◆作品受付 受付期間：2026 年 **6 月 15** 日(月)まで ※15 日消印有効
送付先：【郵便局】

〒540-6591 OMM内郵便局 私書箱 50 号
(公社)日本書芸院 高大展係 宛て

【郵便局以外の宅配業者等】

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-7-31 OMMビル 7 階
(公社)日本書芸院 高大展係 宛て

送付物：1. 出品票(作品 1 点につき 1 枚必要)

2. 作品

3. 受付台帳

4. 集計表(1 団体につき 1 枚必要 個人で出品する場合も必ず提出すること)

5. 複数部門出品者申請用紙(複数部門出品者が 20 名を超える団体は提出すること)

* 「作品とりまとめ代表者」が出品者(作品を書いた本人)の承諾を必ず得たうえで出品すること

* 出品票の「出品者署名」欄に出品者本人直筆の署名および生年月日の記載が無い作品は受け付けない

* 作品はつとめて保護するが不可抗力による破損については責任を負わない

* 一度受け付けた作品は返却しない(ただし入賞作品は除く)

* 集計表に記載する「作品とりまとめ代表者」の住所は日本国内に限る

* 個人出品の場合、出品者本人または保護者等が作品取りまとめ代表者となる

◆審査員 黒田賢一・高木厚人・高木聖雨・田中徹夫・土橋靖子・中村伸夫・日比野博鳳・星 弘道・真神巍堂
山本悠雲・吉川美恵子・読売新聞東京本社取締役事業局長 ・ 読売新聞大阪本社執行役員事業局長

◆審査及び賞 1. 全作品を審査のうえ、次の賞を授与

(1) 全日本高校・大学生書道展大賞(大賞)・・・賞状・賞品を授与 若干名

(2) 全日本高校・大学生書道展賞(展賞)・・・賞状・賞品を授与 若干名

(3) 優秀賞 賞状を授与

(4 賞外作品) 準優秀作品、(5 賞外作品) 優良作品

* 入賞作品(大賞・展賞・優秀賞)は実費負担(1点につき2,000円)で希望者に返却する(額は付かない)
2026年9月25日までに申し込むこと なお、申込方法の詳細は成績通知に同封するとともに日本書芸院
ホームページにも掲載する(準優秀作品、優良作品は返却しない)

* 成績証明書の希望者は住所・出品者名・賞名を明記のうえ、事務局まで申し込むこと(優秀賞以上に限る)

2. 成績優秀校に団体賞を授与

(1) 最優秀校 2校 高校の部・大学の部 各1校 賞状・盾を授与

(2) 優秀校(第2位・第3位) 4校 高校の部・大学の部 各2校 賞状・盾を授与

(3) 第4位～第10位 14校 高校の部・大学の部 各7校 賞状を授与

* 選考はポイント制 出品点数によるポイントと審査結果によるポイントの合計で決定する

○出品点数によるポイント

出品点数10点につき1ポイント、ただし上限を200点・20ポイントとし、200点を超えて出品しても20
ポイント以上の得点にはならない

○審査結果によるポイント

大賞受賞1点で20ポイント、展賞受賞1点で5ポイント、優秀賞受賞1点で3ポイント

* 書道団体や任意のグループで出品しても、団体賞は出品者個人の在籍校で集計する

◆成績発表 2026年 **7月24日**(金) 午後4時 日本書芸院ホームページに掲載予定

1. 7月24日 午後4時 入賞者(大賞・展賞・優秀賞)を日本書芸院ホームページに掲載予定

2. 7月24日 集計表に記載の「作品取りまとめ代表者」宛に成績通知を発送予定(24日投函予定)

* 電話による審査結果の問い合わせは出来ない

* 7月31日(金)までに届かない時は事務局までご連絡ください

3. 団体賞受賞校の学校長宛に成績通知を送付

4. 8月中旬、読売新聞紙上(大阪本社版・夕刊)に入賞者名(大賞・展賞・優秀賞)を掲載予定

掲載の読売新聞は展覧会場・授賞式会場で配布、また作品返却を申し込まれた方へは作品に読売新聞
を同封、展覧会終了後には日本書芸院会報に転載する

* 地方版掲載の為、読売新聞社から入賞者へ取材があった場合にはご協力をお願いします

* 地方版の紙面も日本書芸院会報に転載する

◆陳 列 2026年 **8月18日**(火)～**23日**(日) 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー(天王寺公園内)

大阪市立美術館 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 tel 06-6771-4874

* 9:30～17:00(入館は16:30まで)

* 大賞・展賞・優秀賞を陳列

* 展覧会場を360度カメラで撮影し、VR(バーチャルリアリティ)会場として日本書芸院ホームページで公
開予定

* 美術館には駐車場がありません、天王寺公園地下駐車場をご利用ください

◆授 賞 式 2026年8月23日(日) 午後1時 エル・おおさか(大阪府立労働センター)で開催

第1回全国大学書道パフォーマンス大会優秀チームによるパフォーマンス披露もあります 詳細は成績通知にてお知らせします

■個 人 情 報 全日本高校・大学生書道展の出品者および作品取りまとめ代表者の個人情報、報道機関などへの成績発表、日本
書芸院会報等出版物およびホームページへの掲載、読売新聞社の取材資料、次回展のご案内、読売書法展のご案内、
日本書芸院主催事業のご案内などに使用することがある

■著 作 権 著作権が保護されている著作物を作品の題材として利用する際の著作権者への申請・許諾等の手続きは、出品者・
出品団体の責任において行うこと

■募集要項の規定に違反する行為が見つかった場合、「作品取りまとめ代表者」に連絡のうえ、つぎの措置をとる

1. 規定違反の作品は出品取り消しとする

2. 団体での規定違反だけでなく、個人の規定違反であっても、審査員で構成する審査委員会が明らかに悪質と判断
した場合は、個人の作品を出品取り消しとするだけでなく、その出品者が在籍する団体を団体賞の対象から外す、
または団体全ての作品を出品取り消しとする場合がある また、このような場合は学校長に連絡し改善を求める

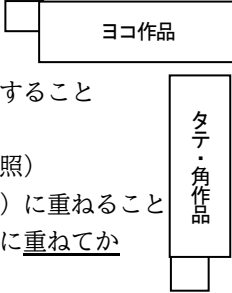
3. 規定違反の個人・団体は、次年度以降の出品を断る場合がある

出品票、受付台帳、集計表の記入について

出品票などの資料は必ず楷書で記入すること（簡体字は使用しないでください）

【 1. 出品票 ・ 2. 作品 】 ＊出品票の出品者署名欄は必ず出品者が署名すること

- ・ 太枠内のみ記入漏れのないように記入すること
- ・ 雅号で出品する場合、出品者本名の欄に本名を記入すること
- ・ 進学準備中の場合、学校名は予備校名または「自宅学習中」と記入すること
- ・ 作品番号は「受付台帳」の作品番号と合わせる
- ・ 作品貼付用紙を出品票より切り離し作品に貼り付けること（右図参照）
- ・ 出品票は作品番号1を一番上にして作品番号順（受付台帳の記入順）に重ねること
- ・ 作品は作品番号1を一番上にして作品番号順（受付台帳の記入順）に重ねてから、まとめて折りたたむこと（1枚1枚折りたたまないこと）
- ・ 出品票及び作品は受付台帳の記入順と同一順にすること



ここで切り離し、作品貼付用紙は作品に貼り付ける

【 3. 受付台帳 】

- ・ 作品取りまとめ代表者が太枠内のみ記入すること
- ・ 受付台帳は5種類、作品寸法ごとに記入すること（1枚に50名記入できます）
 - ①第1種A ②第1種B ③第1種C ④第2種 ⑤第3種（篆刻のみ）
- ・ 作品番号は第1種A→第1種B→第1種C→第2種→第3種の順に、出品する総点数の通し番号を記入すること また作品番号は「出品票」の作品番号と合わせる
 - 例1：2×8尺24点、全紙13点、篆刻3点、合計40点出品する場合
 - ①作品番号は1～40となります
 - ②第1種Aの受付台帳に2×8尺作品の出品者名等を記入、作品番号は1～24
 - ③第2種・第3種の受付台帳にも同様にそれぞれ出品者名等を記入、作品番号は第2種25～37 第3種38～40
 - 例2：全紙のみ8点出品する場合
 - ①第2種の受付台帳に出品者名等を記入、作品番号は1～8となります。

【 4. 集計表 】

- ・ 作品取りまとめ代表者が太枠内に記入すること
- 作品取りまとめ代表者連絡先（成績通知等送付先）
 - ・ 学校へ成績通知等の送付を希望する場合は学校名まで正確に記入すること、個人出品の場合は出品者本人または保護者等の連絡先を記入すること
 - ＊ 夏休み中でも成績通知の受け取りが可能な日本国内の住所をご記入ください
- 出品団体名、出品区分
 - ・ 集計表裏面を参照のうえ記入すること
 - ・ 高校生・大学生混合で出品する場合、出品区分は高等学校や大学にレ点は付きません
 - ・ 団体賞は出品者の在籍校で集計するので、出品団体名が団体賞に影響することはありません
- 複数部門出品者
 - ・ 複数部門出品者がいる場合は、その内訳（複数部門出品者名、出品点数、作品番号）を記入すること なお、複数部門出品者が20名を超える団体については、別途「複数部門出品者申請用紙」を事務局まで請求するか、日本書芸院のホームページよりダウンロードして、複数部門出品者の内訳を記入して提出すること

【 5. 複数部門出品者申請用紙 】 ・ 複数部門出品者が20名を超える団体のみ提出すること

1. 出品票（受付台帳の作品番号順に揃える）
2. 作品（作品貼付用紙を貼り付け、受付台帳の作品番号順に揃える）
3. 受付台帳
4. 集計表（1団体に1枚、個人出品の場合も必ず提出すること）
5. 複数部門出品者申請用紙（複数部門出品者が20名を超える団体のみ） を揃えてご出品ください